

子宮頸がん検査

子宮頸がん検査として、婦人科医による診察と細胞診検査をしています。また、HPV検査も受診していただけます。



細胞診検査

子宮頸がん細胞診検査は、専用のブラシ等で子宮頸部をこすり、細胞を採取し、顕微鏡にて細胞を調べる検査です。KKCではベセスダシステムに準拠して判定しています。

HPV検査

HPV検査は、採取した細胞から、ヒト・パピローマウイルス（HPV）に感染していないかを調べる検査です。

“子宮頸がん”は子宮の入口近く（子宮頸部）に、がんができ、主に、HPVウイルスの感染でがん細胞が発生することが原因と言われています。HPVは自然排出されることも多いのですが、感染が持続すると、子宮頸部に異形成という前がん病変が発生する場合があります。

性交渉経験のある女性であれば、誰でも感染する可能性のあるがんであり、初期の自覚症状はほとんどありません。

ご自身のリスクの度合いを把握していただきながら、癌へ進行してしまうその前の状態で見つけ対処するために、定期的に検診や精密検査を受けることが最大の予防策となります。

その他の婦人科疾患

臨床所見（問診と診察）の結果は、「その他の婦人科疾患」として報告しています。なお細胞診検査で、感染症の所見を認めた場合も、「その他の婦人科疾患」に加えて報告しています